

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 特別の教科道徳 ）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（光村図書） 発行者番号（38）
1 内容	<p>①現代的な課題への取組として、「いじめ」「情報モラル」「SDGs」が全学年に掲載されている。</p> <p>②いじめ防止に関する内容の教材が全学年に配置されている。</p> <p>③情報モラル教育に関する内容は、発達段階に応じて、段階的に配置されている。</p> <p>④第2学年以上で著名な人物や池江璃花子、中村哲など現代的な人物を扱っている。</p> <p>⑤全学年で問題解決的な学習に対応した教材に掲載している。</p> <p>⑥即興的に演技して考える「役割演技」のページを全ての学年で掲載している。</p> <p>⑦教材の巻末にキャラクターによる児童への呼びかけの言葉が示されている。</p> <p>⑧考えるためのツール「心情円」が付録としてついている。</p>	<p>①「いじめ」「情報モラル」「SDGs」に関する内容が全学年に掲載されている。</p> <p>②いじめ防止に関する内容の教材が全学年で配置されている。</p> <p>③情報モラル教育に関する内容は、全学年に教材を配置している。</p> <p>④第2学年以上で、歴史や文化、スポーツなどで業績を築いた著名な人物を扱い、先人の生き方や考え方に触れられるようにしている。</p> <p>⑤学習の手引きを通して、問題解決型の流れが提示されている。</p> <p>⑥演じて考える体験的な学習を促す設問が、全学年に設定されている。</p> <p>⑦内容を理解しやすいようマンガ形式の教材が掲載されている。</p> <p>⑧教材の最後には自己評価欄が設けられている。</p>	<p>①現代的な課題としては、「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」を取り上げている。</p> <p>②いじめ防止に関する内容の教材が全学年で配置されている。</p> <p>③情報モラル教育に関する内容の教材が発達段階に応じて系統的に掲載されている。</p> <p>④音楽会・遠足・保護者参観など、学校行事を題材とした教材が選定されている。</p> <p>⑤各学年で、「心を通わそう」の活動を通して、話し合いをする場面が設定されている。</p> <p>⑥役割演技など、体験的な学習を促す設問が、全学年に設定されている。</p> <p>⑦全学年の教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉が示されている。</p> <p>⑧第3学年以上では、思考ツールを活用して自分の考えを整理できる場面が設定されている。</p>
2 構成・分量	<p>①冊子の構成は、第1学年から第6学年まで年間1冊となっている。</p> <p>②目次の他に、四つの視点をどの教材で学んでいくのかを一覧できる表がある。</p> <p>③視点ごとの分量の割合は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」 25.5% ・「主として人との関わりに関すること」 23.5% ・「主として集団や社会との関わりに関すること」 31.3% ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」 19.7% <p>④第1学年から第6学年までの総ページ数は、1038ページである。</p>	<p>①冊子の構成は、第1学年から第6学年まで年間1冊となっている。</p> <p>②目次の他に、四つの視点をどの教材で学んでいくのかを一覧できる表がある。</p> <p>③視点ごとの分量の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」 27.3% ・「主として人との関わりに関すること」 23.4% ・「主として集団や社会との関わりに関すること」 34.0% ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」 15.3% <p>④第1学年から第6学年までの総ページ数は、976ページである。</p>	<p>①冊子の構成は、第1学年から第6学年まで年間1冊となっている。</p> <p>②目次の他に、四つの視点をどの教材で学んでいくのかを一覧できる表がある。</p> <p>③視点ごとの分量の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」 27.5% ・「主として人との関わりに関すること」 25.5% ・「主として集団や社会との関わりに関すること」 30.9% ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」 16.1% <p>④第1学年から第6学年までの総ページ数は、1048ページである。</p>
3 表記・表現	<p>①児童が興味・関心をもてるような写真・挿絵が挿入されている。</p> <p>②教材本文には、ユニバーサルデザインフォントの教科書体を使用している。</p> <p>③低学年の本文は、読みやすいまとまりで改行している。</p> <p>④漢字表記については、当該学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用されている。固有名詞などの配当学年以上の配当漢字には、ふりがながついている。</p>	<p>①児童が興味・関心をもてるような写真・挿絵が挿入されている。</p> <p>②教材本文には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>③低学年では、分かち書きと文節改行で表している。（第2学年の1学期まで）</p> <p>④漢字表記については、原則として当該学年の漢字までを使用している。ふりがなは当該学年の漢字の一部の熟語、固有名詞、熟字訓などを対象についている。</p>	<p>①児童が興味・関心をもてるような写真・挿絵が挿入されている。</p> <p>②教材本文には、教科書のために特にデザインされた光村教科書体が使用されている。</p> <p>③第1学年は文節分かち書き、第2学年では3文節程度の分かち書きになっている。</p> <p>④漢字表記については、第1学年では、数字以外は漢字表記ではない。第2学年～第6学年では、当該学年の配当漢字に全てふりがながついている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①冊子のサイズはAB判である。</p> <p>②教材名の隣に、内容項目を表現する一文や授業で考える視点に関する記載がある。</p> <p>③教材の内容に関する発問と、自分自身を振り返る発問が、1つずつ掲載されている。</p> <p>④「つながる・広がる」のページで、各教科等との関連を明示している。</p> <p>⑤各教材にデジタルコンテンツとして、朗読音声、場面絵やスライドショー、ワークシートが用意されている。</p>	<p>①冊子のサイズはAB判である。</p> <p>②教材名の隣に、内容項目を表現する一文や授業で考える視点に関する記載がある。</p> <p>③教材ごとに、1/3～1ページのスペースで「考えよう・深めよう」という項目があり、教材の内容に関する発問、自分自身を振り返る発問、が掲載されている。また、「つなげよう」という今後に向けての発問が掲載された教材もある。</p> <p>④ロールプレイを取り入れる教材、問題解決をする教材が各学年にある。</p> <p>⑤各教材にデジタルコンテンツとして、教材内容、人物紹介、関連図書の紹介、リンク集が用意されている。</p>	<p>①冊子のサイズはB5変形判である。</p> <p>②教材名横に、内容項目を分類する4つの視点をマークで掲載している。</p> <p>③教材ごとに、「考えよう・話し合おう」という項目があり、考え方の視点、教材の内容に関する発問、自分自身を振り返る発問が掲載されている。教材の最初、最後、途中等、発問の掲載場所は教材によって違う。</p> <p>④全学年最終ページに「学びの記録」を記入するページがある。第1学年から第4学年には振り返りのシールが付いている。</p> <p>⑤各教材にデジタルコンテンツとして、朗読音声や参考資料、動画などが用意されている。</p>

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 特別の教科道徳 ）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（116）	発行者（光文書院） 発行者番号（208）	発行者（学研） 発行者番号（224）
1 内 容	<p>①「いじめ」「情報モラル」「SDGs」「多文化共生」「自己肯定感」の5つのテーマが各学年に掲載され、系統的になっている。</p> <p>②いじめ防止に関する内容の教材では、ユニット「人との関わり」は学期一回、年間三回配置され、重点的に取り組めるようになっている。</p> <p>③発達段階に応じた「情報モラル」に関する内容が系統的に掲載されている。</p> <p>④全学年を通して、北海道から九州まで、全国各地の素材が教材化されている。</p> <p>⑤「こころのベンチ」として、自分自身や生活等を振り返る場面が設定されている。</p> <p>⑥役割演技など、体験的な学習を促す設問が、全学年に設定されている。</p> <p>⑦教材の冒頭に児童向けのわかりやすい言葉でキーワードが掲載されている。</p> <p>⑧「道徳ノート」内には「おうちの人から」欄があり、家庭での話し合いの題材にもなる。</p>	<p>①「いじめ」「情報モラル」「SDGs」に関する内容が全学年に掲載されている。</p> <p>②いじめ防止に関する内容の教材が発達段階に応じて編集され、全学年に掲載されている。</p> <p>③発達段階に応じた「情報モラル」に関する内容が系統的に掲載されている。</p> <p>④教材付随のコラムが掲載されている。巻末には「相田みつを」の書を掲載している。</p> <p>⑤各教材の設問は、学んだことをどう生かすかという視点で、「展開」「終末」「発展」を意識した内容になっている。</p> <p>⑥「やってみて考えよう」という体験的な学習が掲載されている。</p> <p>⑦各学年に絵やマンガ、写真の資料を基に考える教材が多く扱われている。特に低学年は多く配置されている。</p> <p>⑧フローチャートやウェビング等発達段階に適した思考ツールが提示され、多面的・多角的に考えられるようになっている。</p>	<p>①「いのち」「多様性」「キャリア」の教材が全学年で配置され、各学年でユニット形式を取り入れている。</p> <p>②いじめ防止に関する内容の教材は、全学年に掲載され、それぞれの立場で考えられるような設問になっている。「命の尊さ」について全学年3本の教材が掲載されている。</p> <p>③「情報モラル」について系統的に学べるように全学年に掲載されている。</p> <p>④著名人等、先人だけでなく、今活躍している人も全学年で取り上げている。全国各地に関連した内容を全学年に掲載している。</p> <p>⑤発展の教材が用意されていて、本教材とつなげて考えを深められるようになっている。</p> <p>⑥役割演技など、体験的な学習を促す設問が設定されている。</p> <p>⑦教材の冒頭に問題意識を高めキーフレーズを掲載している。</p> <p>⑧巻頭と巻末には現代的な課題を自分事として捉える振り返りが記入できるようになっている。</p>
2 構成・分量	<p>①冊子の構成が第1学年から第6学年まで年間1冊となっており、全ての学年に教材ごとの記入欄が示されている「道徳ノート」が付属されている。</p> <p>②目次の他に、四つの視点をどの教材で学んでいくのかを一覧できる表がある。</p> <p>③視点ごとの分量の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」 26.9% ・「主として人との関わりに関すること」 24.6% ・「主として集団や社会との関わりに関すること」 33.5% ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」 15.0% <p>④第1学年から第6学年までの総ページ数は、1068ページである。</p>	<p>①冊子の構成は、第1学年から第6学年まで年間1冊となっている。</p> <p>②目次の他に、四つの視点をどの教材で学んでいくのかを一覧できる表がある。</p> <p>③視点ごとの分量の割合は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」 23.8% ・「主として人との関わりに関すること」 23.8% ・「主として集団や社会との関わりに関すること」 33.7% ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」 18.7% <p>④第1学年から第6学年までの総ページ数は、1068ページである。</p>	<p>①冊子の構成は、第1学年から第6学年まで年間1冊となっている。</p> <p>②目次の他に、四つの視点をどの教材で学んでいくのかを一覧できる表がある。</p> <p>③視点ごとの分量の割合は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」 28.2% ・「主として人との関わりに関すること」 23.9% ・「主として集団や社会との関わりに関すること」 29.2% ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」 18.7% <p>④第1学年から第6学年までの総ページ数は、936ページである。</p>
3 表記・表現	<p>①児童が興味・関心をもてるような写真・挿絵が挿入されている。</p> <p>②教材本文には、UD デジタル教科書体が使用されている。</p> <p>③第1学年と第2学年の本文は、文のまとまりで改行している。</p> <p>④漢字表記については、原則として当該学年の配当漢字までを使用している。当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞等の漢字には、ふりがながつけられている。</p>	<p>①児童が興味・関心をもてるような写真・挿絵が挿入されている。</p> <p>②教材本文には、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p> <p>③第2学年までは分ち書きになっている。</p> <p>④漢字表記については、前学年までに習った漢字の使用を基本としている。第3学年までは、全ての漢字に、第4学年からは当該学年以上の漢字にふりがながついている。</p>	<p>①児童が興味・関心をもてるような写真・挿絵が挿入されている。</p> <p>②教材本文には、ユニバーサルフォントが使用されている。</p> <p>③第1・2学年の本文は、読みやすいまとまりで改行している。</p> <p>④漢字表記について学年で学習する漢字や固有名詞にふりがながついている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①冊子のサイズはAB判である。</p> <p>②教材名の隣に、内容項目を表現する一文、授業で考える視点に関する記載、教材のあらすじが記載されている。</p> <p>③教材の内容に関する発問と、自分自身を振り返る発問が、1つずつ掲載されている。</p> <p>④「ぐっと深める」ページで教材を自分事として捉えさせるための道筋を示している。</p> <p>⑤各教材にデジタルコンテンツとして、アニメーション付きの音声朗読、登場人物に関する動画、学び方の動画などが用意されている。</p> <p>⑥「道徳ノート」に自由記述欄が設けられている。</p>	<p>①冊子のサイズはAB判である。</p> <p>②教材名の隣に、内容項目を表現する一文と授業で考える視点に関する記載がある。</p> <p>③教材の内容に関する発問が2つ、自分自身を振り返る発問が1つ、今後に向けての発問が1つ、掲載されている。</p> <p>④「学びのあしあと」として全学年、巻末に学習の記録を書き込むページがある。</p> <p>⑤二次元コードを読み込むことで、学習に関する動画を閲覧することができる。</p>	<p>①冊子のサイズはAB判である。</p> <p>②教材名の上に内容項目を分類する4つの視点をマークで掲載している。</p> <p>③教材の内容に関する発問と、自分自身を振り返る発問が、1つずつ掲載されている。</p> <p>④「深めよう」「心のパスポート」のページを設けている。</p> <p>⑤二次元コードを読み込むことで、動画を見られたり音声で聞けたりする。</p> <p>⑥教科用図書内に自分の考えや思いを書き込むことができる教材がある。</p>